

新興国レポート

インド準備銀行6会合連続政策金利据え置き

国債買入れプログラムを7~9月期も継続する方針を示す

- ▶ インド準備銀行（RBI）は6月4日の会合で、大方の予想通り、政策金利の据え置きを決定。
- ▶ RBIは、ワクチン接種の加速予想等を背景に、インド経済の急回復見通しを維持。また、景気回復を支援するための国債買入れプログラムの継続方針を表明。
- ▶ 今回の会合結果を受け、市場では低金利下での株高持続期待が高まる可能性も。

(1) 6会合連続で政策金利据え置きを決定

- RBIは6月4日の金融政策決定会合で、新型コロナウイルスの感染再拡大による経済への悪影響を抑制し、景気回復を支援するため、政策金利を過去最低の4%に据え置くことを決めました。大方の予想通りでした。新型コロナウイルス危機への対応で、2020年3月と5月に合計1.15%引き下げた後は、今回を含め、6会合連続で据え置いています（図表1）。
- RBIは感染再拡大による影響を考慮し、2021年度（21年4月~22年3月）の実質GDP（国内総生産）成長率（前年度比）見通しを+9.5%と、前回（21年4月）の同+10.5%から下方修正しました。但し、今後数ヶ月でワクチン接種が加速し、経済活動の正常化が進むとの見方等を背景に、2020年度の同-7.3%から急回復するとの見方は維持しました。

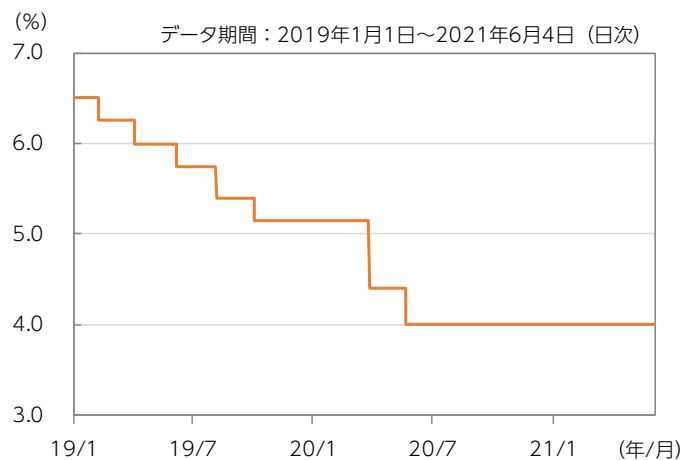
(2) 国債買入れプログラムの継続方針示す

- ダスRBI総裁は前回の会合で、金利上昇を抑制し、景気回復を支援するため、量的金融緩和措置として、4~6月期に1兆インドルピー（約1.5兆円）の国債買入れを行うとし、4月16日から開始しました。今回の会合では金額を1.2兆インドルピー（約1.8兆円）に増額した上で、7~9月期も買入れを継続する方針を示しました。

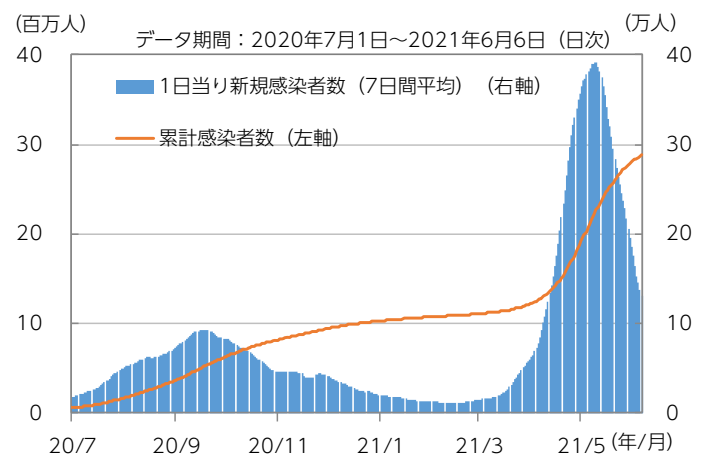
(3) 低金利の株高持続期待が高まる可能性も

- RBIがインド経済が急回復するとの見通しを維持したことや、国債買入れプログラムの継続方針を表明したことを背景に、市場では低金利の下で株高が続くとの期待が高まるのが考えられます。
- 新型コロナウイルスの感染落ち着き（図表2）や金利の安定等を背景に、インド株式（SENSEX指数）は6月3日、約4ヶ月ぶりに史上最高値を更新しました（図表3）。インド株式は、高値更新に伴う利益確定の売り等を消化しながら、低金利下での株高期待を支援材料に、上昇基調を続けるものと思われます。

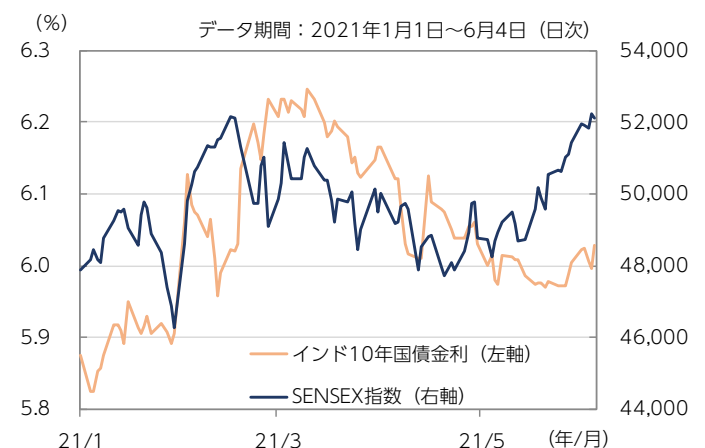
図表1：インド政策金利の推移



図表2：インド新型コロナウイルス感染状況



図表3：インド株式と10年国債金利の推移



出所) 図表1~3はCEIC、ブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>